



10月のほけんだより

夏の暑さが和らぎ過ごしやすい季節になりました。戸外で活動する時間が増え、子どもたちの体力がぐんぐん伸びる時期でもあります。睡眠・朝食をしっかりと、日中はたくさん活動するといった基本的な生活習慣を身につけ、寒さやウイルスに負けない丈夫な体をつくっていきましょう。 看護師 萩原あずさ

各種検診・検査のお知らせ

10/5(水) 視力検査 4歳児のみ

看護師が視力表を用いて検査を行います。
事前に問診票の記入・提出にご協力をお願いします。

10/19(水) 内科健診 全園児対象 (聖光会病院 齋藤先生)

当日欠席された場合は、後日指定された日に聖光会病院で健診を行います。その場合は保護者の同伴が必要になりますのであらかじめご了承ください。

身体測定日

3歳未満児 10/12(水)

3歳以上児 10/13(木)

当日は着脱しやすい服装
で髪を結んでいる場合は
頭の上には結ばないよう
お願いします。



10月10日は「目の愛護デー」です

2つの10横に倒すと、まゆと目の形に見えることから10月10日は目の愛護デーとされています。乳幼児期は子どもの目をもっとも育つ時期です。この機会にお子さん「目」の健康をあらためて見直してみましょう。

ここをチェック!

- 頭を左右どちらかに傾ける、顔を左右どちらかに回す
あごを上(下)げる
- 目(視線)が内側に寄っている、外側に外れている
- 目を細めて見る
- 極端に近づいて見ようとする、TVに近づいて見る
- ものを近づけて見る
- 上目づかい(下目づかい)でものを見る
- まぶたの形(大きさ)に左右差がある
- 屋外に出ると非常にまぶしがる・嫌がる
- 瞳の中央(奥の方)が白く光る

1つでも当てはまる場合は、眼科への受診をお勧めします。

弱視は視力が完成する6歳頃までに治療を開始しなければ、視力の改善は難しいとされています。そのため、異常に早く気づき、治療のタイミングを逃さないようにすることが大切です。

- 3歳児健診では家庭での視力検査をしっかりと行いましょう。
- 検査ができなかった場合や、検査の結果、要精密検査となった場合は速やかに受診しましょう。
- 検査結果に異常がない場合でも、お子さんに気になる様子が見られる場合は受診しましょう。

弱視とは・・・何らかの原因ではっきりと物を見ることが妨げられ、視力の発達が止まってしまう、眼自体には異常がないのに眼鏡をかけても視力が上がらない状態をいいます。

インフルエンザの 予防接種が始まります

9月末に町からご家庭に予診票が送付されます(町に住民票があるお子さんのみ)。お手元に届いたら内容をよく確認し、流行前に接種を済ませましょう。

インフルエンザは任意接種になりますが、園では重症化や集団感染を防ぐため接種をお勧めしています。

アレルギーのあるお子さんは主治医とよくご相談ください。

●○お願い○

発熱や咳・鼻水等の症状があり新型コロナウイルスの抗原検査やPCR検査、インフルエンザの検査等を受けた場合、結果が**陰性の場合でも、連絡をくださるようお願いいたします。**

また、内科健診や歯科検診の「受診結果報告書」が未提出の方は、受診し、提出くださるようお願いいたします。